

令和5年度 生命医科学域セミナー I

演題:ゼブラフィッシュで医科学する

演者:小林 麻己人 先生

筑波大学医学医療系 分子発生生物学
准教授

日時:令和6年2月16日(金) 17時～18時

会場:臨床講義室D

要旨:

私は、医科学研究をゼブラフィッシュというモデル脊椎動物を用いて行っている。ゼブラフィッシュは、実験胚発生学と遺伝学が駆使しやすい小型熱帯魚として約30-40年前に発生生物学で活用され始めたモデル動物で、その有用さにより、今では他のさまざまな研究分野でも利用されるようになっている。本セミナーでは、私たちがゼブラフィッシュを用いて得た最近の研究成果と今後の展望をご紹介する。具体的には、造血細胞の運命決定におけるエピジェネティクス制御、Nrf2経路の多様な応答性と正負の生理的機能、間接的抗酸化能を有する食品成分の作用、などのトピックについてまとめてお話しする。医科学研究におけるゼブラフィッシュの有用性についても触れさせていただく。

連絡先:生命医科学域長室 高橋 智
satoruta@md.tsukuba.ac.jp